

みんなつながる！みんな動き出す！川合の防災まちづくり

大田市 川合まちづくりセンター

1 川合町の概要

川合町は、面積34.5㎏、人口1,801名、世帯数886（平成30年2月1日現在）、自治会数は16である。大田市のほぼ中央に位置し、美郷町へつながる国道375号が町内を走っている。静間川と忍原川が合流する自然豊かな地であり、出雲風土記に、「石見国安濃郡川相郷云々」とあらわされているように、古くから拓けた歴史ある町である。

町内には、川合保育園、川合小学校（児童数74名）、そして、養護老人ホーム、特別養護老人ホームなど5つの福祉施設がある。

2 川合まちづくりセンターの取り組み

川合まちづくりセンターの推進目標には、①安全なまちづくり②地域の防災支援③「ふれあう」「にぎあう」「つどう」まちづくり④学びあい⑤行政サービスの充実、の五つを挙げている。町内のさまざまな機関、団体などとの連携の成果により、町民の幅広い参加、協力を得て、「みまもりたい」の活動にみられるように、各種事業を活発に展開してきている。

3 今年度の事業

川合町では、これまでも自主防災組織を中心とした、安全で安心して暮らせるまちづくりのための取り組みを継続的に行ってきたが、大人中心の取り組みだった。今年度は、地域の担い手となる次世代、次々世代の子どもたちを対象とすることを中心にして、地域での人と人とのつながりの大切さを実感し、地域住民としての自覚や防災に関する自主的な意識の醸成を図った。

4 具体的な取り組み内容

- ① 川合小学校児童と地域の防災研修会を実施した。

- ・自分の命、身の安全を守るため、児童に関心を持たせることから始めた。（5年生と土砂災害についてともに学ぶ）



- ・防犯安全マップづくり（6年生を指導）



- ・非常食づくり（5年生を自主防災会会員が協力指導、51名が参加）非常食のレシピ集や感想文も作成した。



・広島市総合防災センターにおいて親子で学ぶ防災研修会を実施（11組の児童と保護者が参加）煙体験・煙中の避難訓練、地震体験・豪雨体験など積極的に参加した。



② 毎月発行する川合まちづくりセンターの「たより」や防災チラシで、次のような実施した研修会等を取り上げ、地域防災への啓発活動に努めた。

・検討会の開催



- ・防災ハザードマップ検討会の実施
- ・地域防災研修会、避難訓練の実施
- ・防災訓練（防災テントはり、土のうづくり）の実施
- ・福祉施設と地域の合同防災会議の実施



・福祉施設と地域の連携活動（避難訓練の救出救護活動）

・非常食づくり講習会（コンテスト）



・県内で行われた研修会への参加や視察研修の受け入れ、講師派遣

5 評価と成果

今年度、川合小学校児童の「命を守る学習」を4回おこない、防災を通じた学習や体験、訓練の実施等で地域住民の世代を超えてつながりが深まった。そして、これまでの継続的な実施と合わせて、防災に関する次世代リーダーの育成につながった。また、川合町における自主防災組織は3組織増えて18組織となり、組織の拡大につながった。これらのことにより、川合町のこれまで高い評価を得ていた地域住民と各種団体や福祉施設等の地域団体間の連携を一層進めることができた。

6 今後の課題と見通し

川合町では過去に大きな水害を何度も経験している。水害を含め災害の発生は避けられないが、事前の対応、対策で減災することはできる。「川合の防災まちづくり」の取り組みを継続していくことは、まちづくりの一つの手段として大切なことと考えている。

文責 川合まちづくりセンター
センター長 小林 公司